



# 西内野 コミュニティだより

22号

発行／西内野コミュニティ協議会 総務・広報部

## 第8回

# 西内野もちつき大会

12月13日 (日)

参加者 730名

青少年・文化部 部長 江口 実

西内野もちつき大会を祝うように天候に恵まれて、多数の方々が参加され盛大に行われました。

このイベントは、地域の方々が触れ合い交流し、親睦と融和を図る事業活動として行っています。

大会は、数日前から、10自治会からそれぞれ多数のボランティアが準備に入りました。大会当日は、参加者を快くお迎えして、美味しい雑煮とおもちを食べて、楽しいひと時を過ごすことができました。

地元西幼稚園・西内野小学校・内野中学校・新潟西高等学校や新潟大学留学生等の若い世代の方々も参加し、日本伝統の食の文化を伝えることができました。ボランティアの皆様へ感謝し、今後もこのもちつき大会を通じて、近隣家族間の交流の場として地域の発展に寄与していきたいと思いをします。



## 参加者の感想

### 丸めもちボランティア

巻総合高 3年  
森合 梨緒

毎年参加させていただいています。去年に比べ参加者の人数がとても多く忙しかったけれど、楽しく充実した1日を過ごせました来年も参加したいと思います。

### 新大留学生 楽 洵

初めてもちつき大会に参加できて、大変嬉しく感じております。ありがとうございます。また、今回のようなイベントがあったらぜひ参加させていただきたいです。楽しみにしております。

### 西幼稚園 朝妻 音桜

お餅がちょーちょー美味しかったです。パパがお餅をついているのも見れて楽しかったです。

### つき手ボランティア

内野中 3年 木 竜 諒

徐々にもちつきをさせて頂きありがとうございました。とても貴重な体験でした。

### 西幼稚園 吉塚 ひなた

きなこもあんこもおいしかったです。また来年も食べたいです。

## 地域のうごき

内野上新町自治会長 古 俣 正 樹

### ● 曾和、上新町線進捗状況 ●

402号線内野大橋建設に合わせ曾和上新町線と402号線を結ぶ事に行政も了解して、平成20年にスタートした。事業である用地が畑地であり、用地折衝、灌漑設備の配管、井戸設備等、折衝が難行していましたが、基本合意がなされ今冬工事完了。用地買収もほぼ合意出来、平成28年度新中浜から上新町間工事着工、上新町から402号線間買収完了予定ですが、402号線までの完通には、平成30年頃にならうと予測されます。

### ● 西区、西蒲区海岸沿岸線に市民協議会設立 ●

西区海岸沿線地域の開発が忘れられたのが、砂漠の様に荒れつつある。地域住民が結束して、飛砂防、海岸浸食対策、農地の基盤整備、耕作地の雨水処理、漁港の開発、活性化、遊漁船の違法係留の抜本対策等について、上新栄町より角田浜間の各自治会、関係団体で「西地区地域創生開発協議会」を設立発足しました。国県市に積極的に働きかけ、協力し地奉する事が目的です。

どれも難事業ではありますが、将来の西地域の発展のために、国県市の行政と一体となって、平成28年度より活動します。

内野西が丘自治会長 今 井 明

### ● 歩行者や自転車の安全を確保 ●

#### 「ゾーン30」制定

新潟西警察署や新潟市、隣接の自治会などと協議し整備を求めてきた結果、歩行者や自転車が安全に通行できるよう、車の最高速度を30キロに規制する「ゾーン30」が、内野西が丘周辺の道路でこのほど整備されました。ゾーン30は、住宅密集地など一定の区域（ゾーン）を定めて車の最高速度を30キロに規制したり、安全対策を行ったりするもので、全国で整備が進んでいます。これまでは、住宅街にも拘らずバイパス方面へ抜けるためにスピードを出す車が多く、時々事故も起きていました。

区域内は路側帯を設けて車幅員を狭くするなど、ゾーンが指定されたことで、ドライバーへ注意を促し、歩行者の安全確保に期待しています。



### ● 初の公園 ●

当町は平成16年から居住が始まり、今年で12年目を迎えます。世帯数も600戸を超え、西内野地区では有数な多世帯住宅地域となりました。必然的に未就学児を含め児童数が増えているにも拘らず、公園（7箇所予定）は全く未整備のままで、子どもたちは、道路や宅地での遊びとなり、交通事故や怪我など常に危険と背中合わせの環境で、多くの住民から公園整備の要望が高まっていました。

自治会で何回となく土地区画整理組合に要望してきた結果、ようやく1箇所の整備が決まり昨年末に完成し、建設課の竣工検査待ちの現況です。

今後は町内で公園愛護会を結成し、使用のルール決めと除草や清掃等の公園管理を行うとともに、4月には西区公園愛護連絡協議会に加入いたします。他公園整備（6箇所）も換地後に、継続して市に要望の予定です。



891㎡ (257坪)

# 活動報告

## 夜間防犯パトロール

防災・防犯部 部長 早川 雄一

毎年秋に夜間防犯パトロールを実施しています。  
 平成27年度は、9月6日(日)夜に新潟西警察署、内野駅前交番、西出張所の関係者を招いて出発式を行ない、スタートしました。期間は、11月4日(水)までの週2回(水・日)で、回数は延18回。班構成は、各自治会・町内会から隊員を選出して、6班(各班7名)のローテーションで実施しました。  
 活動は特に事件もなく終了しましたが、本活動が犯罪の抑止効果にもつながり、安心・安全なまちづくりの実現に向けて貢献するものと思っています。

## 自主防災図上訓練及び炊き出し訓練

防災・防犯部 部長 早川 雄一



平成27年度の西内野地区自主防災訓練は、11月8日(日)に西コミュニティセンター大ホールで、避難マップ作製の図上訓練、及び炊き出し訓練を実施しました。

当日は、各自治会・町内会から10名ずつ集まり、講師にはNPO法人日本防災士会新潟県支部、また来賓として西区役所、西出張所、西区の防災士、内野中学ジュニアレスキュー隊が加わり、総勢130名が参加しました。  
 内容は、「防災組織の活性化」、「防災マップの進め方」の講義のあと、各グループ(自治会・町内会)に分かれて防災マップ作製と、「災害を想定した課題抽出と対策立案」をワークショップ形式で研修しました。併せて、防火防災連合会女子部員がアルファ化米(五目御飯)を炊き、参加者全員へ配布しました。  
 作製された防災マップは全世帯配布に向け準備を進めています。

## 高齢者(独居)日帰り研修

健康福祉部 部長 板井 光司

10月21日(水)久しぶりの晴天、参加者は16名、スタッフ7名で紅葉の始まった弥彦、角田山を望み、眼下に佐渡ヶ島を浮かべる日本海を眺めながら、バスは一路寺泊「海華亭かわい」へ。

ゆうえい会渡辺事務局長さんの「認知症の人への対応」のお話にうなずき、地元の魚、野菜料理に舌鼓をうち、陽に輝く日本海を前に湯につかり、他の町内の方との話もはずんで親睦を深めることが出来たと思います。

今後西内野コミ協としては、住民同士笑顔でささえあい、安心安全なまちづくりを目標に、高齢者に寄り添いながら未来ある地域づくりに取り組んでいきたいと思っています。



## 西内野あいさつ運動の推進

青少年・文化部 部長 江口 実

平成27年11月16日(月)から20日(金)までの間、10自治会からあいさつ推進員が通学路などで登下校の時間帯にあわせて、西内野あいさつ運動に取り組みました。同じ地域に居住していても「人間関係が希薄」「あいさつがない」などの声があがりました。「遠い親戚より近くの他人」と言われますが、地域の方々が愛着などを深め、住民同士がつながりのある地域を目指してあいさつを交わすことで交流が深まり、親近感が芽生えて、住み良い町づくりを推進していかれるものと思います。実施に当たっては、寒風の中、推進員が児童や通行人にあいさつを交わしたことで、1日目は頭を下げて会釈する子どもたちも、翌日には、積極的に大声で元気よくあいさつを交わして通学して行くようになりました。

今後も、この地域の方々が無言ですれ違いなどしてきたものを、大人も子どもも自然とあいさつを交わすことが出来る住みよい町づくりが定着していくことを願っております。



あの人

元留学生の新潟再訪

平和台第七団地自治会

元新潟大学教授 野口 誠 一



この数年、時々、知り合いが逝ってしまっているので、生きてる内にお会いしましょう、と言う分けで、夜も遅くなった午後8時半、新潟空港に迎えに行きました。

この数年、野口先生に英文のメールが入って、野口に連絡してくれないかと言う依頼があり、私の方には、郵便で連絡が来た。早速相手のメールアドレスに返事を書いて、回路が繋がったのであった。このところ、諸般の事情で、大分韓国から遠ざかっていた間に、先方のメールアドレスが変わっていた。

30年前になるが、最初の韓国からの留学生の朱さんが来た時は、まだ、留学生自体が珍しく、韓国産のキムチも余り輸入されていなかった。だから、生協の食事が口に合わないらしく、味噌汁などに七味唐辛子を振りかけて食べていたのが印象的であった。韓国人って、辛いのが好きなんだなー、と、思っていた。

その後、新潟大学に留学している韓国人がキムチの作り方を講習会をするというので、私の母を誘って国際交流会館に出かけて、キムチ一包みを手に入れて帰ってきた。4日くらい、冷蔵庫で寝かせれば、食べ頃になるでしょう、と言うので、4日後、皆で、神妙な顔をして食べたのであった。これが我が家の初めてのキムチとなった。母の亡くなった今、昔の語り草となった。

当時、NHKに韓国語講座というのがあった、毎日曜日それを見て韓国語の勉強をした。ある時、主任教授の先生の所に韓国の研究者が来たことがあった。通常、研究者同志は、英語が通じるので英語で良いのだけれど、この時は、一言、韓国語で挨拶したら、主任教授は、早速、今、何と言ったか、と質問が来た。単なる挨拶だったのだが、分からぬ言葉をしゃべるので、質問したのだろう。その後、その先生は、どうしておられるかと聞いたところ、亡くなられたと言う返事となった。これも、今は昔

韓国から飛行機で来るには、それ相当な金額になるけれど、それに見合うほどの何かを得られたかどうか、お返しに、コミセンでピアノ曲を一曲演奏したが、今度は、こちらが出かける番のようだ。



李夫婦

祝 西幼稚園 創立40周年

実行委員長 寺瀬 千恵

大勢の皆様のご尽力で開園した西幼稚園が創立40周年を迎え、12月4日にコミュニティ協議会会長猪爪衛様はじめ大勢の来賓の皆様とともに記念式典や祝賀会を開催しお祝いしました。

もりのへや(遊戯室)は、かわいい子どもたちのお祝いの気持ちでいっぱいになりました。園児の姿を皆様にも見て頂きたかったと思います。

祝賀会には、参議院議員中原八一様が駆けつけて、一緒に祝ってくださいました。開園当初の園の周りの様子などを思い出したり、後援会の活動を改めて思い出しました。

月一回行われている「つぼみの会」(未就園児の幼稚園訪問)のこと、保育ボランティアのことなどです。毎年着実に次に受け継がれていく様は「西幼稚園後援会の力」です。これからも、地域の皆様とともに西幼稚園を見守っていきたく思っていますので、よろしくお願いたします。



新潟市住みよい郷土推進協議会

環境美化活動 功労者部門受賞

新中浜町内会 佐藤 千恵

平成27年11月20日(金) ホテルイタリヤ軒において新潟市住みよい郷土推進協議会より表彰を受けました。この賞は広い意味で地域社会に貢献した人に贈られると聞きました。身に余る光栄で心より感謝しています。

顧みますと町内老人クラブ六和会の健康教室を30年、現在も継続中です。又、西地区公民館や、その他の地域で多勢の人との出会いがあり、皆さんが健康で暮らす為のお手伝いをさせていただいています。

健康で長生きをすることは万人の願いだと思います。その為には日々の運動は不可欠です。人は齢を重ねた体力のあることが気力にも繋がり充実した生活に繋がってきます。自分に合った運動を見つけて是非続けて下さい。

今後とも健康と諸事情の許す限り、地域社会の行事に参加したいと思っています。微力ですが、私の今迄修得したものが周りの人々に少しでも寄与出来れば幸甚でございます。ありがとうございます。



編集後記

一年を通じて自然災害が世界各地で発生し、日本でも鬼怒川の氾濫と共に茨城・常総市などで尊い人命が失われたこと、鹿児島・口永良部島の新岳が噴火して、海岸まで達する火砕流が発生し、全島民が島から避難しました。日ごろから万が一に備えておきましよう。地域の皆さんにより親しんでもらえるたよりになる様に今号より左綴じに変更しました。(青木 文男)